

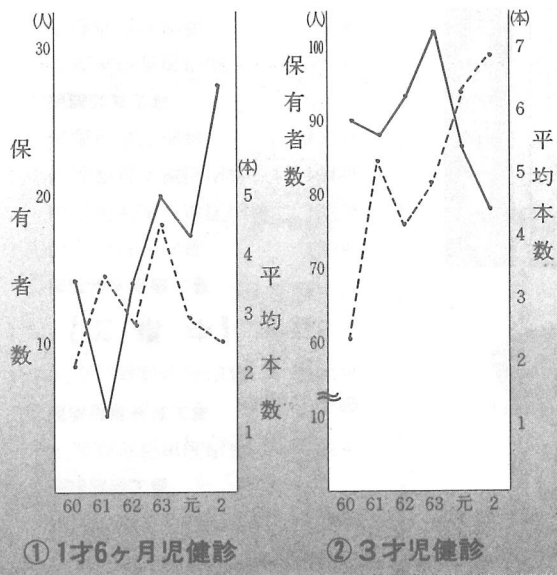


こんにちは 保健婦です

ムシバまれている子どもの歯



(パート1)



乳歯は生えかわるからむし歯になってもかまわないと思っ
っているお母さんやおばあち
ゃんはいませんか？
赤ちゃんの歯は妊娠9週頃
からつくりはじめられ、妊娠
の後半には、あごの中で硬い
乳歯をつくる作業がすすんで
います。また、一部の永久歯
の芽も妊娠中につくられてい
ます。ですから、歯が生える
前からむし歯予防は始まって
いるのです。一生を自分の歯
で豊かに暮らせるよう、子ど
もの時から気をつけましょう。

児健診での、むし歯のあつた
子どもの数とむし歯の平均本
数です。これを見ると1歳6
か月児健診では、平均本数は
減ってきているものの、むし
歯のある子どもが増えてきて
います。一方、3歳児健診で
はその反対の傾向にあること
がわかります。
また、1歳6か月児健診で
は、むし歯のある子どもが27
人であったのが、3歳児健診
では倍以上の77人になってし
まうことがわかります。
1歳6か月頃になると自我
がめばえ始め、自分のわがま
まや好みを主張するようにな

$$\text{平均本数} = \frac{\text{むし歯の数}}{\text{保有者数}}$$

ります。甘いお菓子やジュ
スなどを欲しがり、それを強
く主張し始めるのです。それ
について負けてしまい、子ども
の言うまま菓子を買ひ与えた
り、子どもをおとなしくさせ
るために甘い物をもたせたり
していませんか？
そんなことを繰り返してい
るうちにむし歯が増えていき、
3歳児で倍以上になってしま
うという結果をうむのではな
いのでしょうか。

子どもが増増することを考え
ると、この間にむし歯になら
ないようにすることも、むし
歯予防の大きな鍵の一つであ
るといえるでしょう。
むし歯は食べカス(歯垢)
の中でバイキンが増え、甘い
ものと一緒になって酸をつく
ります。この酸が歯をとかしてで
きます。ですから、むし歯に
ならないためには、
①食べカスをとる(歯みがき)
②甘い物をひかえる
③強い歯をつくる
ということが大切です。
詳しい方法については、次
号でお知らせします。

<p>①永久歯の歯ならびを悪くする</p>	<p>②弱い歯質の永久歯になる</p>	<p>③発音がうまくできなくなる</p>
<p>④偏食になり、かまなくなる</p>	<p>⑤腎臓病や心臓病などあらゆる病気の原因になる</p>	<p>虫歯の こんな弊害 がある</p>